

2018年度 9・24 月祝



日本ルーテル神学校

一日神学校のご案内



ルーテル学院大学

JAPAN LUTHERAN THEOLOGICAL SEMINARY

JAPAN LUTHERAN COLLEGE / GRADUATE SCHOOL

message

あなたと共に

日本ルーテル神学校 校長 石居 基夫
ルーテル学院大学 学長 市川 一宏

教会の礼拝では、司式者と会衆が交互に「主が、あなたと共におられるように」と挨拶を交わします。この挨拶は、もちろんわたしたちの間で交わされるものですが、同時に神様の祝福を祈ることばでもあります。

本当に短いことばのやり取りですが、そこで相手が持っている困難や悲しみ、あるいはそのときに抱えている責任や働き、その人の人生に対して神の恵みと導きを祈るものだと言ってよいでしょう。そして、その祈りに応える神の恵みのみ業の中に、わたしたち自身が用いられ生かされていくものでもあるのです。

ルーテル学院大学、神学校は、主に仕え、人に仕える他者支援の専門職を養成します。誰かの生活、心、魂の問題に寄り添い、神様の恵みを分かち合うものとして生かされていくのです。そして、それはきっと、誰かのためというより、「あなたと共に」と呼びかけ合い、わたしたち自身が共に生かされていくということなのです。

「あなたと共に」と生きる恵みを分かち合う、今年の一日神学校へ、どうぞおいでください。

開会礼拝・派遣礼拝

数百名で行う開会聖餐礼拝は圧巻。全国から集められたルーテル教会の信徒が心一つにして礼拝を行います。一日の終りにはこどもと共になごやかな派遣礼拝を行います。



講義 (午前・午後)

一日神学校の柱、本学教員陣による講義です。神学・社会福祉・臨床心理の3分野から、充実したラインナップで皆様をお待ちします。しっかり学んであなたも一日神学生！(講義によっては録音も可能)



チャペルコンサート

チャペルにて本学音楽サークルによるコンサートが行われます。聖歌隊とハンドベルの演奏や合同曲、パイプオルガンの演奏もごさいます。



ミニショップ

一日神学校名物ミニショップです。楽しい交わりのときをお過ごしください。



こどもしながっこう / TEENS プログラム

毎年恒例の幼・小学生対象のこどもしながっこう、そして中高生対象のTEENSプログラムを開催。



2018年度 一日神学校タイムスケジュール

午前

9:15	受付開始 (玄関ホール)	こどもしながっこう / TEENS プログラム	
9:45	開会聖餐礼拝 (チャペル)		
11:10	「闇に輝く灯火のように」 試練の中に生きる旧約信仰		大串 肇 教授 [チャペル]
	み言葉はあなたと共に		齋藤 衛 准教授 [252 教室]
	子どもと共に 子どもの支援に大切な技術とこころ		加藤 純 教授 [151 教室]
12:30	ケアする人とともに 今求められる介護者支援とは？	山口 麻衣 教授 [263 教室]	
12:30	昼食と交わりのひととき 各教会のミニショップ (トリニティホール1階ラウンジ)		
13:30			

午後

13:30	交わりのひととき 各教会のミニショップ (トリニティホール1階ラウンジ)	こどもしながっこう / TEENS プログラム	
14:00	共に考えよう「認知症」 ソシオドラマの経験を通して		前田 ケイ 名誉教授 [251 教室]
	「共に生きる」ための神学		石居 基夫 教授 [152 教室]
	神は我々と共におられる 具体的に神の存在を体験する		ジェームズ・サック 教授 [252 教室]
15:20	チャペルコンサート (聖歌隊とハンドベルとパイプオルガン)		在学学生スピーチ
15:30	派遣礼拝 (16:00 終了予定)		

- プログラムはご自由にお選びいただけます。
- プログラムの参加は無料です。当日先着順となります。定員になり次第締め切りさせていただきます。

午前



教授 大串 肇

略歴▶慶応義塾大学卒、東京神学大学博士課程前期修了、ドイツ・ボン大学福音主義神学部留学。神学博士(東京神学大学)。聖書の歴史のかつ文学的批判的研究のみならず、自ら教会の牧会者伝道者としての視点を大切にしながら、教会に仕える旧約聖書の学びを目指している。趣味は音楽鑑賞、ウォーキング、自然や環境問題などに関心がある。日本基督教団仙川教会牧師、日本基督教団仙川教会子どもの家幼稚園園長、日本旧約学会会員、日本基督教学会会員。

「闇に輝く灯火のように」 試練の中に生きる旧約信仰

神はほんとうにいますか。人類は進歩しましたが、戦争やテロの脅威はなくなりません。癌などの病の不安、ストレスだけで窒息しそうです。その中で信仰をもって生きるとは、どういう意味があるのでしょうか。
旧約聖書には放浪する旅長、嘆きの義人、自分の運命を呪う預言者やニヒリストが登場します。そのような彼らがどのように試練を克服したのか、闇の中に輝く灯火のような、珠玉の旧約聖書の御言葉を共に味わいましょう。



教授 加藤 純

略歴▶国際基督教大学卒。サンフランシスコ州立大学大学院修士課程、日本社会事業大学博士後期過程修了。臨床心理士。児童養護施設の児童指導員、教育相談室の教育相談員、子どもの権利を守る相談援助活動等の経験を活かして面接の技術を楽しむ授業が好評である。日本精神衛生学会、日本子ども家庭福祉学会等に所属している。趣味は自然に触れること、音楽、サッカー観戦。

子どもと共に 子どもの支援に大切な技術とこと

「子どものために」と思うと、大人が良いと思うことを押し付けてしまいます。「子どもと共に」と考えた方が、子どもが望むことを実現しようとする発想が生まれます。「共に」は良い主題ですね。子どもの声に耳を傾ける技術や、子どもに寄り添おうとする姿勢など、支援に大切な技術やことについて考えてみましょう。また、授業や実習を通して、支援に大切な技術やことを学生がどのように学んでいるかもお話ししたいと思います。



准教授 齋藤 衛

略歴▶明治大学卒。日本ルーテル神学大学・神学校卒。日本ルーテル教団神学院卒。東京成徳大学大学院修士課程修了。心理学修士。神学校卒業後、北見聖ペテロルーテル教会に派遣され、五年間伝道の働きに就く。その後東京ルーテルセンター教会の責任教職となり現在に至る。日本ルーテル教団牧師。日本ルーテル教団神学院長、神学校では教会実習・宣教研修を担当。趣味は絵本読み聞かせ。

み言葉はあなたと共に

聖書をどのように読むのか、ここに立ち止まっている方は多いことと思います。この点についてルターは「祈り・黙想・試練」という読み方の原則を示しています。では、祈りによって聖書を読むとはどういうことか、黙想によって読むとはどういうことか。この点が分かったような、分からぬような…。今回「レクチオ・ディビナ」(聖なる読書)の方法をもって道筋を得たいと思います。み言葉こそがあなたと共にあるために。



教授 山口 麻衣

略歴▶上智大学卒。南カルフォルニア大学大学院老年学スクール修士課程修了。老年学修士(MSG)。上智大学大学院文学研究科社会学専攻(社会福祉コース)博士後期過程修了。社会福祉学博士および社会福祉士かつ専門社会調査士。一般社団法人日本ケアラー連盟理事等。高齢者ケアの政策と実践の関心を持っていて、フォーマルケアとインフォーマルケアの関連や、ケアラー支援のあり方に関する実践研究に携わっている。趣味は温泉旅行とウクレレ。

ケアする人とともに 今求められる介護者支援とは？

介護保険制度ができてもうすぐ20年になりますが、今なお多くの家族介護者が自分のことを後回しにしながらケアしています。ケアする人(ケアラー)を支援するとはどういうことか、ともに考えましょう。また、認知症にフレンドリーな教会の取り組みを参考に、ケアラーにフレンドリーな教会の取り組みとは何かについても、ともに議論したいと思います。



名誉教授 前田 ケイ

略歴▶ハワイ州立大学社会学部卒業(BA)。コロンビア大学ソーシャルワーク大学院修士課程卒業(MS)。1977年以来、本学の福祉専門教員として勤務、その後、大学院教員として、福祉と臨床心理の学生を教え、2009年に退職。1983年からサイコドラマの勉強を始め、ソシオドラマなども実践。また、日本へのソーシャル・スキルズ・トレーニング(SST)導入・普及に大きな貢献をされ、現在も国内各地で精神障がいを持つ方たちと家族への支援、少年院・刑務所などでもSSTを実践している。ルーテル学院大学名誉教授、SST普及協会顧問。

共に考えよう「認知症」ソシオドラマの経験を通して

ソシオドラマ(社会劇)では参加者のひとりひとりが主役です。認知症という病気を巡って、いろいろな立場の人:病人、家族、友人、近所の人、医療・福祉の支援者、その他の人達がどんな気持ちを持ち、どんな体験をしているのか、相談しながらいろいろな場面を即興劇で演じてみます。それによって、認知症の全体が見えてきます。強制は一切しませんので、楽しくて、勉強になる時間となるでしょう。



教授 ジェームズ・サック

略歴▶セント・オーラフ大学卒。ミルーサー神学大学卒。同大学院博士課程修了。哲学博士。日本での宣教師の経験も踏まえ、カウンセリングサービスに活動中。つねにユーモアにあふれ、輝く存在。優しい家庭人でもある。日本家族研究・家族療法学会会員。日本臨床姿勢学会会員。時間が有るときはガーデニングを楽しむ。自然の風景を写真に収めることが趣味。人間成長とカウンセリング研究所長(1996.4~2012.3)。

神は我々と共におられる 具体的に神の存在を体験する

マタイによる福音書2章23節にイエス様が生まれる前に天使がヨセフに現れ、こう伝えました。「彼の名はインマヌエルと呼ばれる。『神は我々と共におられる』という意味である。」現代でも私たちはどうしたら神様の存在を体験できるだろうかと考えます。この講義の目的は講話と体験学習を通して、神様の存在に日常生活で出会うことをご一緒に学ぶことです。毎日神様に祝福される宝物が待っていますので、今日も体験しましょう。



教授・神学校校長 石居 基夫

略歴▶東京都立大学卒業、障害児教育を学ぶ。その後、日本ルーテル神学大学・日本ルーテル神学校卒業。日本福音ルーテル教会の牧師として教会経験の後、ミルーサー神学校へ留学する。同大学院博士課程修了。神学博士。教義学、ルター神学を専門とする。現在、日本ルーテル神学校校長、デール・パストラル・センター所長。日本キリスト教会会幹事、日本ルター学会理事。趣味は合唱、自然(植物・鳥)鑑賞。

「共に生きる」ための神学

宗教改革500年の記念を終え、いま、新しい時代にこの世に福音を宣べ伝える使命をわたしたちがどのように生きるのだろうか。ルターの神学に学びつつ、わたしたちの教会の宣教の業を神の大きな恵みの働きのなかに捉え、わたしたち自身の信仰の生活を考えてみたい。現代社会のさまざまな課題のなかに生きる人々と共に生きるための神学を皆さんと共に学びたい。



本学講師・チャペルオルガニスト 湯口 依子

略歴▶東京芸術大学オルガン科卒、同大学院修了。ドイツ・ウエストファーレン州立音楽学校卒。青山学院女子短大講師、桜美林中学高校オルガニスト。聖歌隊▶大学の中で最も伝統のあるサークルです。学内の礼拝や地域の教会での賛美奉仕、学園祭や病院・福祉施設等でのコンサートを行っています。ハンドベル ラウス・アンジェリカ▶学園祭、聖歌隊とのコンサート、クリスマス奉仕と様々な場で演奏しています。ハンドベルを通して音楽の素晴らしさ、神様に捧げる喜びを感じられます。

チャペルコンサート

本学聖歌隊とハンドベルの迫力ある合同演奏と、パイプオルガンの優雅な演奏を企画しております。本学を代表する音楽を心行くまで堪能してください。

午後

こどもしんがっこう 2018 「イエスさまといっしょ！」

いまからおよそ2000年前にお生まれになったイエスさま。イエスさまはその日々をどのような人たちといっしょに過ごされたでしょうか。みんなもイエスさまのお弟子さんになって、聖書に書いてあるできごとをたのしく学び、体験してみよう。
大学生のおにいさんやおねえさんたちが、みんなが来るのを待っています。おやつもあります。楽しみにしてください。



TEENS プログラム 2018 “with _____”

あなたのそばには誰がいますか？ あなたはその誰かに目を向けていますか？ あなたはその誰かに何ができるでしょうか？
今年のTEENSプログラムは、御言葉に助けられながら互いに語り合い、共に働き、withの後に続く言葉を探します。今年もJELC東東区教育部NEXTとNRK関東地区ジュニア・ユースとの共催として開催されます。TEENSの皆さん、熱い交わりを共に分かち合いましょう。

会場・お問合せ先

日本ルーテル神学校・ルーテル学院大学

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-20
☎ 0422-31-4611 (代表)

- JR中央線「武蔵境駅」南口より小田急バス「吉01」「境91」「境93」のいずれかに乗り8分。「西野」下車徒歩3分。
- 京王線「調布駅」北口より小田急バス「境91」「境51」のいずれかに乗り20分。「西野」下車徒歩3分。



昼食時には軽食を販売いたします。
また、手作りケーキ、コーヒー等も販売するミニショップも出店予定です。

